

登録コード	HM238202	開講年度	2026				
授業題目	老年保健学特別研究				担当教員	横川 吉晴	
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Geriatric Health Science				副担当		
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	必須科目	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				⇔	高齢者を対象とする幅広い健康課題から研究課題を選び、自律した研究活動を遂行できる	
(2)詳細/Detailed information	老年保健学分野における自律した研究の進め方を身につけ、関連する博士論文作成に必要な能力を修得する。						
(3)授業の概要/Overview of course	老年保健学の分野において、大学院生の企画・立案した研究課題についての調査や分析を進め、考察を深めるとともに、論理的な結論を導き出し、博士論文を作成させる。 テーマは、 1) 高齢者の健康に関する心理・社会的リスク要因、 2) 高齢者に関連する保健活動の評価、 3) 高齢者の健康維持、機能低下の遅延に寄与する介入法の開発とその評価などに関するものである。 博士論文の作成にあたっては、実証研究の方法論についての体系的な知識・技術の修得を目指す。 具体的には、在宅高齢者の活動能力保持に関連する要因と介入プログラム、高齢者自身によるボランティア、転倒予防教室、介護予防事業、訪問リハビリテーションなどのプログラム内容や地域におけるネットワークのあり方を取り上げて探求する。						
(4)授業計画/Course plan	日時は受講学生と検討のうえ決定する。研究の進捗により所要時間は異なるが、項目ごとに複数回の指導時間に加え、相当程度の事前事後の自主研究時間を要する。 1 老年学に関する先行文献の検討を行う。 2 研究テーマを設定する。 3 研究テーマに基づく研究計画を立案する。 4 倫理審査を受審し、承認を受ける。 5 データ収集・分析を行う。 6 学位論文をまとめる。 7 研究成果のプレゼンテーションを作成する。 8 学位論文発表会においてプレゼンテーションを実施する。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	博士論文の完成度とプレゼンテーション内容で評価します。 下記の評価項目の合計点に基づき、判定基準は、90-100点（秀）、80-89点（優）、70-79点（良）、60-69点（可）、60点未満（不可）とします。 ①研究領域で権威ある邦文・欧文雑誌に印刷公表または受理（掲載許可）を得ている（30点） ②研究の目的・方法・結果および考察について十分に理解し、明確に説明できている（30点） ③研究内容について提起される質問に対して論理的に説明できている（20点） ④研究の将来展望について論述できている（10点） ⑤当該研究分野に関する最先端の知識を有している（10点）						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	毎回リーディング課題を課す。ミーティング開始直後にその理解を問う口頭試問を行うので、それに備えて課題をしっかりと読み込んでから授業に臨むこと。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問・相談は、随時、対応します。メールアドレス：fhakuba@shinshu-u.ac.jp できるだけメール等で事前に連絡をください。						
(8)授業の形式/Course format	個別指導，発表，討論						